














特に好調 ($30 \leq DI$)	好 調 ($15 \leq DI < 30$)	まあまあ ($0 \leq DI < 15$)	やや不振 ($\blacktriangle 15 \geq DI > 0$)	不 振 ($\blacktriangle 30 \geq DI > \blacktriangle 15$)	きわめて不振 ($DI > \blacktriangle 30$)
部 会	1～3月 (実績)	4～6月 (見通し)	概 況		
寝 装 リビング			「大きな動きはない」「4～6月期は改善、7月以降も前年より回復見込み」との声がある一方で「取引条件の悪化、製品単価の値引きが当たり前に」「ロットの減少、見本品ばかりが増加し薄利多売」との声も寄せられた。毛布卸業界は地方繊維問屋の倒産・廃業の多発により非常に悪化しているとのコメントあり。		
織 維 ファッション			「1～3月期、4～6月期は厳しいが、今秋初めは期待が出来そう」「加工分野では3ヶ月先までは不透明。クイック生産、納期等で益々厳しい」との声がある一方で、収益には結びつきにくい、指定外繊維(抄織糸=和紙)使用製品等の売上は好調のようである。繊維業界から異業種への参入・撤退が活発化しつつある。		
工 業			「原材料やエネルギー費の値上げによるコストUP、受注量の減少が問題視されている」「在庫調整は進んでいるが、リーマンショック前の売上の70%程度で回復の見込みは不透明である」との声がある一方で、今年度後半から、若干好転する見込みの事業所もある。新技術に対応するための、設備投資が必要とのコメントあり。		
建 設			昨年までは落込んでおり廃業も視野に入れていたが今年に入り持ち返してきたとのコメントあり。住宅エコポイントの影響については、新築物件では恩恵はあるもののリフォームとなると条件等申請が厳しい様子。新素材も増えており、在庫管理も厳しいとのこと。業界全体は厳しいが、リフォーム業の売上は上昇してきている様子。		
運輸倉庫			倉庫業からは「各メーカーが商品の在庫を持たず、入荷後すぐ加工・出荷するという状態が続いている」「空き床の増加」「値下げ競争の激化傾向」「最悪状況で今夏より先行き不透明」との声。また、運送業からは「荷主の増件により上昇傾向」「高速道路『無料化』実証実験に伴う、上限運賃で荷主からの値下げ圧力が表れている」「物量の減少に伴う運賃の低下、燃料油の値上がりによる経営悪化」との声が寄せられた。		
金融理財			建売・売建業において在庫増加が見られ、一時程のスピードでの販売状況ではなくなっている。また、賃貸業では賃料の安い物件への住替えが目立ち、物件単価の値下がり手数料収入減となっているようである。勝組と負組が2極化され、勝組の特徴としては①好況の時より行動範囲を広げている②周りの人と良好な関係を維持する為に日常的に努力している。とのこと。		
一般商業			客数・単価ともに減少し、ついで買い・衝動買いが見られない。節約志向というより、「生活防衛」という意識が高まっているため、値上げができる状況にない様子。また、消費者のニーズを察知し、付加価値をつけても販売する方法を模索しなければならない。とのこと。		
サービ ス業			海外からの客数は増加傾向である(関空周辺、大阪市内も同じ)。天候不順の影響もあり、依然として景気は低迷し、低位安定で平行線、お先真っ暗な状態とのコメントあり。政権交代するも、益々先行きは不安。消費者の消費意欲低下による、内食傾向へのシフトがますます進んでいる。色々な観点からして上昇は見込めないだろうとの見方あり。		